

事業者における放課後等デイサービス外部評価結果（公表）

公表：平成 30 年 3 月 10 日

事業所名：放課後等デイサービスのため・ぺっぷ

※ チェック項目 ○=はい △=どちらともいえない X=いいえ							
		チェック項目	○	△	X	工夫している点など	外部評価
環境・体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88%	13%	0%	・安全に運動ができるスペースを確保している。	スペースは十分に確保されている。設定に工夫がみられる。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	・適切に加配している	十分に配慮されている。
業務改善	③	業務改善を進めるための、PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	・職員間ノートの活用 ・周知が必要な書類を回覧形式にしている	職員の意識の高さが感じられる。
	④	保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	13%	0%	・平成 28 年度より実施	実施意図を職員間で確認しておくのが望ましい。
	⑤	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	・定期的に事業所内での研修を行っている。	達成されている。
適切な支援の提供	⑥	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		達成されている。
	⑦	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%	0%	・細かくは発達支援チーム・運動支援チームに分かれプログラムの立案を行い全体で共有。	ある程度分業しつつも、職員間で共有していくことで、十分達成できると思われる。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88%	13%	0%	・基本のプログラムは変わらないが、体操の内容やゲームタイム、イベント等を行っている。	工夫が感じられる。

	⑨	通常プログラムの他に、時期や長期休暇を考慮したプログラム内容を設定しているか	75%	25%	0%	・クリスマススポーツデー・スキーレッスン会など開催している。 ・毎月（1週）特別プログラムの歳、季節感のあるおやつを提供している。	工夫が感じられる。
	⑩	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%		達成されている。
	⑪	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	13%	38%	50%	・翌日行っている。 ・特別な事項があった際などは、その日のうちに情報交換している。	勤務時間内でできる範囲のことは、なされている。
	⑫	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	13%	0%	・記録（個別日誌）に児童の目標（支援P）を記載し、日々確認し療育にあたっている。	その日の子どもの様子よりも、職員が目標に対してどう関わり、どんな反応が見られたのかを、しっかり記録することが望ましい。
	⑬	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%		達成されている。
	⑭	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%	0%	0%		達成されている。
関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%		達成されている。
	⑯	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	88%	13%	0%	・保護者に学校との情報共有についての可否を確認し行っている。	概ね達成されている。

	⑰	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	13%	50%	38%	・主治医との密な共有は出来ていないが検査結果等で情報を得ている。	今後必要なケースがあれば、連携方法を検証し、マニュアル化しておくのが望ましい。
関係機関や保護者との連携	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	75%	25%	0%	・保護者の要望がある際は行っており、支援プラン等共有している。	概ね達成されている。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	88%	13%	0%		概ね達成されている。
	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	50%	38%	0%		業務に支障のない範囲での参加を検討することが望ましい。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%		達成されている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	75%	13%	0%	・月に1~2回開催している講師を招いての「あつまる会」は保護者の悩みや子育てについて話し合う時間。終了後は保護者間での交流も行っている。	どの保護者も参加しやすい設定を検討していくが望ましい。
	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%		達成されている。
保護者への説明責任等	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%		達成されている。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%		達成されている。

	②⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	・お便りだけでなくクラス内にもイベントの日程や内容を掲示している。	達成されている。
	②⑦	個人情報に十分注意しているか	88%	13%	0%	・同意書を得ている。	概ね達成されている。
	②⑧	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮しているか	100%	0%	0%	・連絡帳にてやり取りを行っている。 ・定期的な面談の他、電話での情報交換	達成されている。
	②⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	13%	88%	0%	・空きスペースを開放し、保護者・地域の方向けのヨガ教室等行っている。HPで公表している。 ・保護者や地域の希望者を募ってのあつまろ会（子育てのための勉強会）の開催	PR方法を検討することが望ましい。
非常時等の対応	③⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	・マニュアルを配布している。	達成されている。
	③⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%		達成されている。
	③⑫	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	63%	25%	13%		市の出前講座等を利用し、保護者も含めた機会を検討してはどうか。
	③⑬	どのような場合に、やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	63%	25%	13%		今後も継続して、職員間で検討していくことが望ましい。
	③⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	50%	0%	・アレルギーの注意が必要な児童一覧表を作成・日々の出席簿にもアレルギー対応を記載	今後も徹底していくことが望ましい。
	③⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0%	50%	50%	・徹底するヒヤリハット事例集を作る ・事故報告書のみ行っている×2	事例集の作成が望ましい。

○総評

限りある勤務時間内で、十分努力していることが感じられる。

今後課題としていく部分については、全体の業務量を把握しつつ、療育活動に支障がないよう配慮しながら計画的に進めていくことを勧めたい。

外部評価担当 筒井倫子